

# 生ける水

発行者  
日本福音教会連合  
岡山市北区丸の内  
1丁目11番15号  
理事長 長倉野 攻  
編集 太田正信

## 目次

- P.1 イスラエルの旅 報告 …… 太田正信
- P.1 時の声
- P.2~6 聖地巡礼者の報告 大川百合子、有富忠利・園子、長和子、岡田悦子、後谷さだ子、倉賀野博子、平井猛・美津子、佐々木道子、佐藤伸子、大浦一臣・カズ子、丸畑美智子、兼重元
- P.6 いのちの雫 …………… 鶴沼芳道
- P.6 報告・案内 etc ……

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

## 連合創立四十周年記念

# イスラエルの旅 報告

団長 太田正信

連合諸教会の先生方、愛児姉の皆様とイスラエルの旅のために祈り下さいました多くの皆様、この紙面からですが心から感謝申し上げます。この度の聖地巡礼は、連合内だけでなく、主に在る諸教会の教会からも参加くださり旅行団は十六名と多くもなく少なくもない、丁度良い？人数で神の家族の和やかな九日間の聖地巡礼でした。

以下、許される紙面内で感謝をもってご報告致します。



生誕教会入口。右端前はガイドの橋本ひろこさん、後は添乗員の小林一郎さん

① 出ると入るとを守られる神 岡山空港から10名、成田空港から6名がソウルで合流してテルアビブへ。帰路も逆でこれらは全て大韓航空。

② 全期間の天候の 祝福 季節が一番良い

時期であった事は言うまでもありませんが、毎日快晴で暑くあり「水」は手放せませんでした。死海の遊泳、各地の訪問など風雨による辛さは関係なく最高の日々でした。

の類は一切無く、熱心なユダヤ教徒が祈りに訪れる神聖な場所サムエルさんにお会い出来たような厳粛な感動を体験しました。

① シロアムの池 ヒゼキヤの水道をくぐり抜けた近くにシロアムの池の説明パネルが立っていました。従来シロアムの池と場所が違って(実際は正確な場所に)ショックでした。

記事通り、近畿福音放送伝道協力会の言葉なのか、記者の文章なのかは知らないが、これら犯罪の周辺だけでなく、社会全般、特に、政治の世界の言動は常道を逸している事甚だしい限りである。

ご存じのように14日にアイランド南部のエイヤフィヤトラ氷河で約2百メートルの厚さの氷の下にある火口から吹き出した火山灰が、アイスランド、英、独、仏、北欧、東欧、ロシアなどの国際空港をマヒした事も多くの蚊帳の外？で影響は皆無でした。

③ 17年振り4度目にして初めて訪れた教会などの感激 a.サムエルの墓

b. マグダラのマリヤの教会 オリーブ山にそびえるロシア正教の教会は、添乗員も初めて教会の中に入ったようで、

② 園の墓は保護のために以前のものと違う事を知りショックでした。最後に団長としての感謝はバスの中での喜びの讃美と、聖なる現地に立つての御言のご用と聖餐式を、聖霊様の御臨在の中、主の御顔を拝しながらさせて頂いた事です。

「みんなの党」は？。崩壊？ 寸前の自民党と与党になって、自民党化の民主党。政界再編成前に、人心の一新と議員定数削減の大手術が必要だ。

後三カ月のご婦人などおら

観光施設でないため案内書

ここでもマグダラのマリヤさ

に

に

## 時の声

五月四日(火)朝日新聞に大きな活字で「教会襲撃 見えぬ目的」とあり、「大阪、兵庫、京都、滋賀のキリスト教会に消化器が投げ込まれる事件が止まらない」、「冬は沈黙再び増加」、「4府県で被害72件」と報じられ気になったのは、「近畿の約500の教会が加盟する近畿福音放送伝道協力会は「罪を憎んで人を憎まず」の精神から、被害届を出していない教会もある」の一文である。

罪を憎むのであれば被害届を出す事であり、人を憎まない事は、犯人に対する救いの在り方なのに、これでは、人を憎んで罪を犯させ続けている事ではないか、と思つたからである。

# 四度目の感動

美浜集会所 大川 百合子

天に召された亀谷先生を団長とした聖地旅行に二十二年前初めて参加して数々の感動をいただきその後二度聖地を訪れました。もう行く機会はないだろうと思っていました。が太田先生を団長として計画が進み私にとって四度目の聖地旅行が実現しました。検見川教会閉鎖の苦勞を共にした有富さんご夫妻と信仰の友である長さんと一緒にできたことも感謝でした。

特に印象に残ったのは真夏の太陽が降りそそぐマサダ、カムランの遺跡で、以前とは様子が変わっていました。が壮大な風景に新たな感動をおぼえました。以前訪れたのはすべて冬の時期でしたが今回は夏、空の青さ花々のあざやかさ日陰の爽やかさと恵まれた気候の中で石造りの教会が美しく私達の目を惹きつけてくれました。教会の場所や名前もわからなくなっていた所も再訪することによって確認が出来写真に夢中になった前回に比してガイドさんの説明をじっくり聞くことが出来理解を深めました。シロアムの池、園の墓等が別の場所になっていたり現在も発掘が進んで

ることも驚きでした。祝福の丘の八福教会の美しい姿は以前と変わりませんが周辺は人の手によって整備され宿泊施設等も新たに建てられ様変わりしていました。以前訪れた時、野原に座って礼拝をささげたイエス様が「山上の垂訓」を説教された丘は柵がはりめぐらされ残念ながら見るだけでした。日曜礼拝はダビデの町の木

除で太田先生のメッセージを聞き園の墓では聖餐式の恵みに預り祈りの時を持ちました。今回主の深いご恩寵とご計画のうちにすべてが守られ太田先生の準備の時からのご苦勞によって全員元気で無事帰国出来感謝でした。この経験と感動を多くの方々と分かち合うことが出来ますよう心から祈りいたしております。

## 聖地で受けたメッセージ

美浜集会所

有富忠利・園子



オリヤマ山展望台から

私は、初めて聖地旅行に行きその余韻に今も浸っています。実際にイスラエルの空気を肌で感じイエス様の御足の跡を辿ることが出来たことを、主に感謝し喜びで溢れています。旅行中今までに経験したことのない温かいものを覚え、ありのままの自分を出し、毎日が祝福に満たされたものでした。この聖地旅行で感動したこと

は数多くありますが行く先々で、太田先生のメッセージは、



カイザリヤの導水橋をバックに

た。それは私の心を打ち、素直に入って来ました。信仰の薄いこのような者さえも主は愛して下さるとの確信を得て喜びに溢れました。ダビデの町では聖日礼拝を守り、園の墓では聖餐式に預かり、恵みに感謝しました。バスの中では、太田先生手作りの賛美歌集を手に、皆さんと一緒に賛美したこと、また添乗員の小林さんにイスラエルの歌を教わったりそれも楽しいひと時でした。オリブ山から眺めたエルサレムは決して緑豊かではないが、岩石で作られた建造物は、威厳に満ち神の存在を伺わせる感を抱きました。この地が平和でありますようにと心から祈らざるを得ませんでした。主人はクリスチャンではありませんがキリスト教等がどのような土地の下で生まれたかに興味を持ち、この旅行に参加させて頂きましたが、エルサレムのホテルに宿泊した朝、小鳥のさえずりの聞こえる中、主人が賛美歌を口ずさんでいるのを耳にし、嬉しさのあまり、胸が一杯になりました。本当に一緒に来て良かったと思えました。

最後に旅行に参加された方々へ、本当に心豊かな旅行を有難うございました。主の恵みに感謝します。

## 旧約聖書の地を巡る

アライアンス千葉教会

長 和子



雨の多い日本の春を後にしてベン・グリオン初代首相の胸像が立つ空港に深夜十時過ぎ到着。翌朝ボケル トープ（お早よう）と声をかけ合っ

て超近代的都市テル・アビブ（春の丘）を走り抜けネゲブ砂漠の荒野に入る。一生に一度いいからアブラハムや出エジプト記、レビ記、申命記に示されている実態、自然風土を深く実感したかった。ベエル・シエバ。ソドム。死海を右に見てエンボケツク、マサダに至るユダの荒野はその願いが達成された旅程である。大地溝帯のすさまじい岩石山の断層が続く。荒野の途中創21の14のハガルとその子の悲劇の有様が合点した。水無しでは数時間間で乾いて、死に至るだろうと思わされる。テル・シエバの世界遺産の遺跡が砂漠の中突然目に入る。



ドームの前で太田百合子さんと大川

アブラハムとアビメレクの契約の井戸の跡があり側に一本のぎよりゆうの木(何代目?)が保存され高さ3m位で創21の33。イサクの時ベエル・シエバ(誓いの井戸)創26の33と呼ばれる。水を確保する権利の両者の争奪戦の話。強烈な日光と紫外線はすべてを風化し荒廃させる。ソドムの口トの妻の塩柱と言われる岩山を見た。創18の16、19の29は確かに低地で(死海に向う道だから)断層の山々を岩肌に見える岩塩に至る所を見た。エンボケツクへ到着。死海(塩の海と古来言う)で浮遊体験をする。水はヌルツとした感じ。立ち上がるのが難かしい。蒸発量がものすごいので対岸のヨルダンの山野稜線がかすんで見え50年先にはロブノールの様になると言う。一日目は強烈な旅の印象で頭の中はグラグラ。主に深く感謝のみ。

# 母マリヤの悲しみ

春日部福音自由教会

岡田悦子

主の聖名を賛美いたします。

この度、日本福音教会連合創立四十周年記念「イスラエルの旅」に参加することができまことに感謝でございます。母教会である聖泉キリスト教会の三浦清重先生より旅行のことをお聞きし、夏季聖会で一緒にした後合姉妹も行かれるということで、私も行く決心をいたしました。



カペナウムのベテロ像の前

イスラエルを旅して、聖書を読んで想像するばかりだった場所を実際に見て、聞いて、嗅いで、味わって、空気を吸って経験できたことが一番の感動でした。イエス様も二千年前にこの地で生活されていたという事実が聖書の記述通りに迫ってきました。

## 感謝の聖地旅行

聖泉キリスト教会

後谷 さだ子

縁り濃いイスラエルの聖地旅行は、私にとって受洗後の（四十年前）唯一の希望で夢でしたが、この度思いがけずこの聖地旅行に参加させて頂

けました事は、只々神様は、私達の思をはるかに越えて先わい立って導いて下さり、整えて下さった真実をこの旅行を通して、一つ々に最後の時迄にも感謝するばかりでした。七十才を迎え足に傷害のある身で、とても無理と諦めていたと云うより、忘れていた様な時でしたから、二年前聖火教会の青山恵美子先生が癌で胃の手術をされ、お見舞に伺った時「二、三年して体力がいたら聖地旅行



ホリティ・イン・ティベリヤホテル出発前、岡田悦子姉と

に行きたいと思ってお祈りしている。」とのお話を伺い、まだ術後間もない身でその希望をお持ちなのかと圧倒され逆にお祈りを頂いた思いでした。思わず「私も是非その時は御一緒させて頂きたい」とお祈りに加えさせて頂きました。二月号の「生ける水」に記載されているのを見ました時は、もう足の悪い事も忘れて今度行かれる!!と感謝だけでした。すべての事に時が有り、と、神様の哀れみによって私達の前から後ろからも、またその上から覆って守り歩ませて下さっている恵に心から感謝します。イスラエル、エルサレムと要所々に於て太田先生のもとに聖書が開かれ、どの様な個所も先生が私達と目線を合せて一つ々噛み砕く様にわかり安く語って下さり、新ためて御心を気づかされる事がたくさん有りました。4千年も2千年も越えたところに今、立っている継がれている事を思う時、胸が厚くなると共に、日本の小さな国の少ないクリスチャン数に聖地旅行を通して、神様から選ばれ今あることを思い、またこれからの残された人生の歩みに希望を持って力を頂いて、一人でも救いの恵から洩れる事の無い様、主の忍耐と愛の祈りをさせて頂き、伝えなくては

イエスはヨハネに母のことを頼んでいます。どんな思いでマリヤは一生を終えたのでしょうか。マリヤ永眠教会で眠れるマリヤ像を見て胸を打たれました。

私は病気で長男と夫を天に送っています。二人の闘病にイエス様の十字架の苦難を思いました。また、十字架から降ろされたイエス様を抱く嘆きの母マリヤに、同じ母親として共感する者です。ひとり眠るマリヤの姿を見て、マリヤのように召される時まで、主に忠実に歩みたいものだと思います。

と思を新たにされました。最後に御同行頂いたお一人々にお世話になり感謝致します。それらは、神の言と祈とに

## シロアムの池

岡山中央キリスト教会

倉賀野 博子

「本人が罪を犯したのでもなく、また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである」(ヨハネ9:3)

シロアムの池のあるダビデの町考古学公園で聖日礼拝をしたのは旅の六日目でした。静かに目をとじて耳を澄ましていてイエス様のお優しい慰めに満ちたお声が聞こえてくるようでした。思わず涙がこみ上げてきました。

上記のお言葉で若い日に私も生きる希望と喜びが与えられた者の一人です。イエス様の足音も聞こえて



シロアムの池

よって、きよめられる……。今回、心に残った、示されたみ言葉です。第一テモテ四・五

くるようでした。病める者、障害を持つ者のそばにそっと寄り添って歩まれるイエス様の静かな足音が身近に感じられる礼拝でした。

聖地エルサレムのシロアムの池の近くで守らせていただいた礼拝は私の七十年の歩みの中で最も感銘深く私の心に焼きつきました。イエス様のお言葉にお従いした盲人のようにならぬように私にもイエス様に聞き従う者でありたいと思えます。

皆様のお祈りを心から感謝しています。十六名全員楽しい聖地イスラエルの旅を続け無事に帰ってまいりました。イスラエルの建国記念日と重なって行くところ、行くところ大勢の人でした。添乗員の方、現地のガイドさんも大変気を使われていたのが分かりました。

初めて行かれた姉妹が岡山に着くやいなや「もう一度イスラエルに行きたい」と言われました。私も同じ気持ちです。

# 感動感謝の七日間

岡山中央キリスト教会

平井 猛・美津子

イエスが、地上に生まれる前に、すでにこの様な建物が現存していたとは思えない物が、現在のような機械も道具も無い時代に良くもここまで驚きました。荒野の中に岩をくりぬき、石を積み上げ大変な事業、預言者の働き、良い王様、悪い王様と語る預言者も大変な道程。雨の少ない国、命の源の確保の知恵は感動しました。ヒゼキアの水道は、ビデオの説明によると両方から掘り進んだと説明、何年かかったことか、シロアムの池は期待はずれでした。次々と発掘されている様子があちらこちらにみられ、もし次回聖地旅行がかなうなら楽しみも倍増。ほら穴に入る前に礼拝が持たれ、ヨハネ9章、「先生、この人が生まれつき盲人なのは、だれが罪を犯したためですか。本人ですか。それともその両親ですか。」イエスは答えられた。「本人が罪を犯したのでもなく。また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである。」この箇所を通して、メッセージをされ、太田先生の、可愛

ました。たずねた場が沢山の為頭の中の、整理がつきません。撮影した写真と日程表を元に、少しずつ整理をして、皆さんに話せたらと願っています。旅行中は皆様方には、迷惑を多々、お掛け致しましたが、寛大なる配慮を、感謝致します。紙面をお借りしてお詫びいたします。



国会議事堂前のメノラー

## 念願の聖地巡礼

岡山中央キリスト教会

佐々木 道子

主人と一緒に聖地めぐりをしたく思っていました、いろんな都合で参加出来ませんでした。

下さり希望が叶えられました。教会の方々のお祈りも有り神様がこの機会をお与え下さ

昨年三月に左膝関節捻挫、六月に主人召天、気分的にも落ち着かず半年過ぎて膝の痛みが治まらずMRIの検査の結果壊死を起しており、人工関節置換術を十二月に行いました。術後三ヶ月余りなので、傷、体力面も考へましたが、どうにか許可して



ガリラヤ湖を背に、左から倉賀野博子師、佐々木道子姉、佐藤伸子姉

つた事を感謝しています。四月十三日テルアビルへ到着後ホテルへ。二日目よりスケジユルに組まれた「テル・シエバの遺跡」「ロトの妻の塩柱」を見学。ソドム山の中腹に岩塩の柱が人の姿に見えてびっくり、地面は塩と砂でした。バスでホテルへ、到着後浮遊体験をしました。浮遊は行わない積りでしたが皆様の勧めで海に入ると自然に体が浮き少女の様な気分水とたわむれ、水をなめると超塩辛、ミネラル成分が多く膝の調子が良く成ったようでした。はじめての体験に感動しました。

イスラエルの旅はイエス様と密接な関係の中に一人一人のお祈りに支えられて参加出来た事を感謝しています。

## もう一度聖地巡礼を

岡山中央キリスト教会

佐藤 伸子

この御名を賛美致します。この度時間・健康・経済的なこと必要なものが全てとのえられてイスラエル旅行に参加できた事、またすばらしいメンバーに出会えた事に心から感謝致します。

皆様方のご親切な助けと介助、有難うございました。この紙面をおかりして御礼を申し上げます。

ガリラヤ湖では波一つ立たない真青な湖面を遊覧船に乗り二千年の昔イエス様が歩かれ、弟子達が漁をしたあのガリラヤの海がしのべれます。イスラエル・日本の国歌が流れた後、地元の方と軽快なリズムのうって輪に成りフォークダンスも楽しみました。レストランの昼食は大きなベテロの魚が出てガリラヤの味を美味しく頂きました。七日目の訪問教会はガイドさんが「坂道が急で階段が長いので体調や足の悪い人は止めて下さい」と、絶対に登りたく太田先生のお勧めも有りたどり着いたら礼拝が行われていて感動的でした。

洗礼を受け聖書を読むようになってからイスラエルは行きたい！の熱い思いを懐いておりました。私の描いていたイスラエルはもっと静かな「聖地」を想像していました。旧約聖書に記された場所、イエス様のお生れになった所、弟子達に語られた所、どこも静かで穏やかな所と、どこもここも賑やかな物売りの声が押しよせる観光地でした。（二千年以上前のことががずっと同じと思っていること自体がおかしいのですが）聖地観光はただただ楽しくミミハー的な気分が浮れ過ぎておりましたが旅を終え普段の生活にもどった今、聖書に出てくる荒野、ガリラヤ湖



綺麗な花と

# 神の栄光が現れるため

日本イエス・キリスト教団

高松新生教会 大浦一臣・カズ子



イスラエル初日、私たちはアブラハム・イサクに関係の深い、ベエルシバ、契約の井戸のあるみどりもなく・水を欠かせない熱い砂漠地帯の真中に立っていた。

クムランの写本が発見されたところは険しい山の中腹にある洞窟で、人が過せるだろうかと思えるような場所であった。

エリコの城壁は戦争などで更に破壊が加わったのか、わずかにその姿を残しているだけで、想像していたよりもはるかに小さかった。しかし、ザアカイが登った『いちじく桑』の木は、隠れ覗くに良いと思つた。路傍伝道を倉庫に隠れて、聞いた私(一臣)自身の若き日を思い出していた。そのあと、ピリポ・カイザリア……エルサレムとイエス様の歩まれた地をひとつひ

とつ訪ねるとき、感動と共に主が歩まれた姿を思い浮かべた。人となられた主も、同じように足は軽いつきばかりでなく、重く、疲れきつたこともあつただろう。今私たちはバスで簡単に移動している。サマリアで休まれた記事を出すと共に、「きつねには穴があり、空の鳥には巢がある。しかし、人の子はまくらす所もない。」(マタイ八・二〇)のみことばも浮かんで来た。

## 黄金の街・聖都エルサレム

救世軍岡山小隊所属

丸 畑 美智子



折しも私たちの旅の前に過越祭、後ろにイスラエル建国記念日(四月二十日)に狭まれた週であった。観光シーズンが始まって本格的となつていたし世情も安定していたので世界各地から人々が押し寄

この旅で迎えた主の日、ダビデの町考古学公園で、礼拝ヨハネ九章が開かれた。私たちは三年前に三十一歳になった娘が召され、五月二日に記念会を行うことにしている。神のみわざが、彼の上に現れるためである。(ヨハネ九・三三)のみことばをとおして、癒されることだけではなく、私たちの願いに反するように導かれ、失望する結果になつたとしても、神様の愛を信じ、復活信仰に立ち、神はすべてをよきにしたもうと喜び、愛に満ちて歩むことだ、とメッセージで目が開かれた。娘との再会を望みつつ励みたい。

『三十五億人の聖都エルサレム』ということばに触れた。わかり易い文章と図と写真とでイスラエル歴史を綴つたものであった。  
『マサヤ教徒 イサム教徒 キリスト教徒』  
「世界人口の半数以上だア！」

と驚き、それ以来、祈りの中でしばしばエルサレムに平和をと覚えるようになっていた。世界の平和はこの地に平和ありてこそ、と思えたからだつた。そしていつか再びエルサレムを訪ねたいと願っていた。今回、はからずもその機に巡り合わせて喜びひとしおの感がある。

四月十九日(月) ヴィア・ドロサに私たちは足を踏み入れた。イエスがゴルゴダへ十字架を背負い歩まれた上り坂は、物売りのアラブ人街の喧騒にも拘らず私たちの胸を切々と絞めつけてくる。聖書を読んで短いメッセージと霊想を太田正信先生がして下さつた。そして参加者が順に指名されて祈つた。幾つかのステーションを巡り終わり、

「この辺りはユダヤ人居住区です」とガイド橋本さんが言つてアーチを抜け、陽光降り注ぐ明るさの中へと私たちは連れ出された。左正面に大きくユダヤ教徒の聖地(「神殿に最も近いところ」の壁の一部)「嘆きの壁」が広がつていた。ここで約一時間自由時間が与えられ、ユダヤ教徒たちをはじめいろいろなグループや旅行者が(きつといろいろな目的で)出入りする様子をゆつくり見ることができた。

## 聖地で歌う

山口福音教会

兼 重 二元



今はどの国民もどの宗派・信条の人々をも否定することなく迎え入れている黄金の街エルサレムである。

一、ベエルシバと死海  
アブラハム ネゲブの砂漠に掘りあてし 生命の真清水 人々を生かす

なんじらは 地の塩なりと いわれしが その塩気ありや 死海のほとり  
ちから抜き 身を委せよと 言われしが つい力みたる 浮遊体験

振りむくな 塩の柱と なりたるは ロトの妻かや 人の性かや

二、マサダとクムランとエリコ

くじ引の 陶器片かなし 山上の 兵士ら哀れ マサダの砦  
世をはなれ 潔め求めし 修道士らが 残せし文書

ヨシユア吹く 角笛たかし エリコ城 崩れゆきしは たかき石垣  
クムランの洞窟

三、ガリラヤ湖畔とピリポ・カイザリヤと山上垂訓教会  
朝まだき 声よし鳥の 声さやか ガリラヤ湖畔 夢うつつに聞く

我こそは 生ける水とぞ のたまえし み言葉うかぶ バニヤス流れ

ガリラヤの 湖風はげし 船の上 イエスマどろむ まほろしのうち

四、ヨルダン川とカナとナザレとカルメル山とカイザリア  
ヨルダンの 水は濁れり 世の汚濁 あつめて流る 洗礼の川

水を酒に 変えし奇跡の カナの村 婚礼祝す カナの婚礼教会  
ナザレ村 マリヤに告げし みつかいの 声ひびくなり

受胎告知教会

にせ預言者 狂い踊れり  
カルメンの 山の頂き  
エリヤ火くたす

カイザリヤ 獄舎ぐらしの  
使徒パウロ 世界の民の  
救い折れり

五、ヒゼキヤの水道〜シロアム  
の池〜サムエル〜ベツレヘム

岩うがち きよめの水を  
引きしけど 傲慢になりて  
打たれしヒゼキヤ

シロアムで 生れながらの  
盲人が めしい癒やされ  
踊りて歩む

エブス人 滅ぼしたりし  
ダビデ王 住まいせし家  
簡素なりしや

ダビデ王に 油そそげし  
サムエルは ユダヤ会堂に  
静かに眠る

ベツレヘム 御子が生れし  
茅屋は 今は蟻列の  
ひとびと並ぶ

六、嘆きの壁〜シオンの丘〜  
鶏鳴教会〜園の墓

壁に向き 何を祈るや  
ユダヤ人 神殿の再建  
メシヤの到来

われ知らぬ 三たび否みし  
使徒ペテロ 泣き崩れたる

鶏鳴教会

園の墓 集い来たりし  
同胞が 聖餐かこみて  
ひたすら祈れり

七、オリブ山〜マリヤの墓〜  
聖ヨハネ教会〜皮なめしの家

天あおぎ 主のみ姿は  
見失せしが 残りし足跡  
昇天教会

母マリヤ 地の底深く  
葬られ ヨセフはいずこ  
マリヤの教会

ゲツセマネ 血の汗流し  
祈りし主 オリブ山なる  
老樹は見たり

エリサベツ うまずめなれど  
身ごもりて 生みだしたり  
預言者ヨハネ

アプロサム アプロサムとぞ  
嘆きけり ダビデの心  
子は知りもせじ

われ選ぶ ものすべて潔し  
主の言葉 聞きしペテロは  
皮なめしの家

いのちの雫

心に刻まれたお言葉

富士見望キリスト教会

牧師 鶴沼 芳道

「苦しみにあつたことは、わ

たしに良い事です。これによ  
つてわたしはあなたのおきて  
を学ぶことができました。」  
詩篇一九篇七節。このみ  
言葉は、神学生の三年生の時  
に与えられたのでありますが、  
意味の深さは今も心に刻まれ  
ております。主イエスは、こ  
のみ言葉の持つ意味を多くの  
人との出会いを通じて確かな  
ものにして下さいました。人  
は究極の極限状態に追い込ま  
れて、八方塞がりになった時  
に何かに依存しなければ解決  
の糸口が見当たらないのであ  
ります。

誰もが、困難や苦境からは  
逃避したいのが当然でありま  
すが、私の信頼する方、凡て  
をお任せできる人は、イエス  
・キリストですと、大胆に言  
える事は大きな感謝でありま  
す。自分は神の大きな憐れみ  
と慈しみに支えられて生かさ  
れてきました。勿論多くの方  
々の支えもいただいて、今あ  
る自分に感謝しておりますが、  
何よりも私を支えてくださっ  
ている土台は、罪の為に身代  
わりとなって十字架について  
下さり、よみがえられた。栄  
光の王：イエス・キリスト  
であります。

「此の奥義は汝らの中に在ま  
すキリストにして栄光の望な  
り。」コロサイ書一章二七節  
神学校の時、師より強く感  
銘を受けた生き方を思いだし

ます。主からのお言葉が無け  
れば、又お勧めがなければ一  
歩動けないと言われておりま  
した。御霊の導きなしには、  
何もすることが出来ない。上  
からの御言葉がくると平安に  
なります。「もし御霊に由り  
て生きなば、御霊によりて歩  
むべし」ガラテヤ書五章二五  
節。この生きかたを、生涯貫  
かれました師の姿を、今も思  
い浮かべます。「人はパンだ  
けで生きるものではなく、神  
の口から出る一つ一つの言葉  
で生きるものである。」マタ  
イ四章四節。牧師は、祈りと  
み言葉によって生かされてお  
ります。魚は水の無い場所  
では生息出来ないように、牧師  
もみ言葉と祈りなくしては、  
一歩も進み行けないのであり  
ます。今言えることは、イエ  
ス・キリストに対する愛の情  
熱を持たせていただき、触れ  
合う人々に少しでも多く、イ  
エス・キリストの福音を伝え  
てゆく者とさせていただけつ  
つ、これらの思いを新たにし  
て一歩一歩前進して参ります。

ました。  
岡山中央基督教会(倉賀野  
攻師)では、四月四日(日)  
のイースターで、鳴坂輝美  
姉、桃花姉、大輝兄、実桜  
姉の洗礼式が行われました。  
おめでとうございます。

◆熊毛キリスト教会(石井敬  
子師)では、三月十四日(日)  
阿部俊昭師(鴻南福音教会  
牧師)を礼拝にお迎えされ

報告・案内

◆江尾キリスト教会(稲田敏  
朗師)では、四月二十五日(日)  
陶山征司兄、深雪姉の入会  
式が行われました。

◆太田正信師(岡山勝榮基督  
教会牧師)は、四月二十六日  
(月)日本福音連盟常任理  
事会(於、浅草橋教会)に  
出席し、二七日(火)は、  
連合創立40周年記念のしお  
りの件で聖泉キリスト教会  
で三浦清重師、正子師、鄭  
順業師と準備の時をもたれ  
ました。

◆岡山地区協議会の春の聖会  
が、四月二十九日(木)午前  
十時三十分からと午後一時  
からの二回、内藤達朗師(日  
本ホーリネス教団、狭山シ  
ヤローム教会牧師)を講師  
にお迎えして、聖泉キリス  
ト教会で行われました。

◆中国地区協議会の中国聖  
会は、五月二日(日)午後  
七時から三日(月)午後三  
時まで、山脇 望師(日本

ホーリネス教団、倉敷ホー  
リネスチャーチ牧師)を講  
師にお迎えして、岡山中央  
基督教会で行われました。

◆岡山勝榮基督教会(太田正  
信師)の大宮聖嘉君(6才)  
は、五月九日(日)愛する  
主のみもとに召されました。  
ご遺族の上に主の慰さめを  
お祈り致します。

◆日本福音連盟第43回総会・  
千葉大会が六月六日(日)午  
後七時から八日(火)午後一  
時まで、三井ガーデンホテ  
ル千葉で開催されます。倉  
賀野攻師と太田正信師が出  
席されます。お祈り下さい。

◆夏季聖会のご案内  
日時 八月三日(火)午後三  
時から五日(木)午後  
一時まで  
講師 郷家一二三師(日本ホ  
ーリネス教団、坂戸キ  
リスト教会牧師)  
会場 和気鶴飼谷温泉  
\*お祈りと共にご予定下さい。

◆日本福音連盟第43回総会・  
千葉大会が六月六日(日)午  
後七時から八日(火)午後一  
時まで、三井ガーデンホテ  
ル千葉で開催されます。倉  
賀野攻師と太田正信師が出  
席されます。お祈り下さい。

編集後記

※今月号は、イスラエルの旅  
報告号です。限られた紙面  
ですが、参加者全員の原稿  
が揃った事は感謝です。  
※次号は、夏季聖会案内号と  
して、春の聖会、中国聖会  
の報告も掲載致します。